

2017 年度(平成 29 年度) 大規模災害対策に関する現地調査
『平成 28 年(2016 年)熊本地震からの復興状況と
雲仙普賢岳の火山災害及び諫早湾干拓事業のその後に関する調査』

実 施 要 項

1. 主催

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR)

2. 実施日時 : 2017 年(平成 29 年) 11 月 27 日(月)～29 日(水)(2 泊 3 日)

3. 開催趣旨

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構(CDR)では、これまでも大規模災害の被災地や被災後に対策を講じられてきた現状を視察し、現地でなければ知り得ない情報や現地での苦悩、対策の効果を目の当たりにし、大規模災害に関する認識を深めるためには「まずは現地を見て知る」ということの重要性を説きつつ、毎年、現地調査を実施してきた。

今年度は、平成 28 年(2016 年)熊本地震からの復興状況と雲仙普賢岳の火山災害及び諫早湾干拓事業のその後に関する現地視察調査を実施する。

4. 調査実施場所 : 熊本県阿蘇市、南阿蘇村、益城町、熊本市、長崎県島原市、雲仙市、諫早市

5. 協力機関(敬称略)

(企画調整)

- ・ 熊本県 知事公室危機管理防災課 田口雄一／審議員
- ・ 熊本県 知事公室危機管理防災課熊本地震検証室 高岡成佳／主幹(震災検証担当)

(現地解説案内(予定):熊本県内)

- ・ 熊本市 熊本城総合事務所 野本達雄／副所長、草野由志雄／補佐
- ・ 益城町 町長公室 戸上雄太郎／主事
- ・ 南阿蘇村 復興推進課 堤 正治／主幹、総務課防災・消防係 西元 豊／主幹
- ・ 東海大学阿蘇キャンパス 九州キャンパス復興課 伊藤貴人
- ・ 諫早ゆうゆうランド干拓の里 干拓資料館

6. 現地調査の概要

1)平成 28 年(2016 年)熊本地震の被災・復興状況調査

- ・ 平成 28 年 4 月 14 日 21 時 26 分に熊本県熊本地方を震央とする、震源の深さ 11km、気象庁マグニチュード(Mj) 6.5、モーメントマグニチュード(Mw) 6.2 の地震(前震)が発生し、熊本県益城町で震度 7 を観測した。その 28 時間後の 4 月 16 日 1 時 25 分には、同じく熊本県熊本地方を震央とする震源の深さ 12km、Mj7.3、Mw7.0 の地震(本震)が発生し、西原村と益城町で震度 7 を観測した。気象庁はこの一連の地震を「平成 28 年(2016 年)熊本地震」と命名した。
- ・ 今回の地震は、観測史上初めて短期間に同じ地域で震度 7 の地震が 2 回発生した大地震であり、過去の直下型地震と比較しても長期間にわたり数多くの地震が発生したことが特徴として挙げられる。また、震度 1 以上を 4,131 回、震度 5 弱以上も 24 回観測(平成 28 年 11 月 8

日現在) し、多くの家屋や複数のビルが倒壊したほか、熊本県や大分県の各地で土砂崩れや道路崩壊などの甚大な被害が発生した。

- ・ この地震から 1 年が経過したが、その復興は道半ばである。この 1 年間での復興状況について調査する。

2) 雲仙普賢岳の火山災害に関する調査

- ・ 昨今日本各地の活火山の噴火や警戒レベルの引き上げが発生している。
- ・ 雲仙普賢岳は、1990 年(平成 2 年) 11 月 17 日 198 年ぶりに噴火、まもなく活動は低下したが、1991 年(平成 3 年) 2 月 12 日再び噴火が始まり、5 月 15 日には水無川で最初の土石流が発生した。溶岩ドームは 5 月 20 日に出現し、5 月 26 日、6 月 3 日には火砕流により死傷者、行方不明者が発生した。6 月 7 日には島原市の一部、8 日には深江町の一部で警戒区域が設定され、以降順次拡大された。1991 年(平成 3 年) 6 月 3 日の大火砕流による死傷者の発生のほか、堆積した大量の火山灰により土石流の発生しやすい状態となっており、1993 年(平成 5 年) には水無川から溢れ出た土砂によって大きな被害を受けた。山体には約 2 億立方メートルの土砂が堆積しており、降雨の状況によっては現在も大規模な土石流発生危険がある。
- ・ 山頂付近になお不安定土砂(火砕流堆積物)が多数存在しており、豪雨時には土石流となり下流の集落、国道などへ流下してくることから、山麓では治山、砂防事業によるダムの設置、緑化工事、導流堤の設置など、大規模な防災施設の設置が進められている。
- ・ ここでは火山災害(火砕流・土石流)の様相とそれに対する対策について現地ならびに雲仙岳災害記念館にて学習する。

3) 諫早湾干拓事業に関する調査

- ・ 昨今再度話題に上った諫早湾干拓事業の現状について、現地ならびに諫早湾干拓資料館にてその概要を調査する。

【諫早湾干拓事業】

- ・ 長崎県南部、有明海にある諫早湾での干拓事業。当初は食糧増産のための水田確保を目的に 1952 年、1 万 ha の干拓が予定されていた。しかし、その後の米余りや漁業関係者の反対などによって、目的は水道用水の確保、次いで水害防止へとたびたび変更され、規模も縮小されて 3,550ha を干拓地と調整池にすることとし、1989 年に着工された。その後も総事業費の増大や防災効果や調整池の水質の悪化に対する疑問、さらにはムツゴロウなど干潟を生息地とする生物の保護、自然保護などの観点から、自然保護団体をはじめとする市民団体や地元住民から事業の見直しを求める動きが起こった。そうしたなか、1997 年 4 月計画どおり全長 7km の潮受け堤防によって湾奥が閉め切れ外海から遮断された。1999 年潮受け堤防が完成。2000 年養殖ノリが記録的な不作となり、干潟の減少が原因との調査報告がなされた。2002 年地元の漁業者らが漁業被害を訴え、工事の差し止めなどを求める裁判を起こしたが、差し止めは認められず、2007 年干拓事業が完了、翌 2008 年から営農が開始された。漁業者らは排水門の開門を求めて提訴し、2010 年福岡高等裁判所が国に 5 年間の常時開門を命じる判決を出した。国は上告を見送り判決が確定したが、干拓農地の営業者らは、開門すれば農作物に被害が生じるとして 2011 年開門差し止めの仮処分を申し立て、2013 年長崎地方裁判所はこれを認める決定をくだした。さらに 2014 年 4 月佐賀地裁が開門しない場合の制裁金を、2014 年 6 月長崎地裁が開門した場合の制裁金をそれぞれ国に命じ、福岡高裁もこれを支持。相反する司法判断に対し国は抗告を申し立てたが、2015 年 1 月最高裁判所はこれを棄却し、排水門の開閉にかかわらず制裁金が発生する事態となった。

7. スケジュール

●11月27日（月）

- 11:25 《出発》熊本空港集合
（飛行機：ANA523 便：大阪空港 9:20 発→熊本空港 10:30 着）
（飛行機：JAL2385 便：大阪空港 9:50 発→熊本空港 11:00 着）
（新幹線：新大阪駅（さくら 543 号）6:50 発→熊本駅 10:09 着→熊本駅前（空港リムジンバス）10:20 発→熊本空港 11:19 着）
- 11:35～12:15 昼食（益城町：菅乃屋西原店）
- 13:00～13:05 南阿蘇村役場（役場職員と合流・先導）
- 13:20～13:45 （南阿蘇村）高野台（京都大火山研究所付近住宅地土砂災害現場）
【現地説明：南阿蘇村役場】
- 13:55～14:20 （南阿蘇村）阿蘇大橋斜面崩落現場 【現地説明：南阿蘇村役場】
- 14:30～15:20 （南阿蘇村）東海大学阿蘇キャンパス被災現場 【現地説明：東海大学】
- 16:20～16:50 （阿蘇市）阿蘇神社倒壊現場
- 17:10 阿蘇市（泊：阿蘇の司ビラパークホテル&スパリゾート）

●11月28日（火）

- 8:30 ホテル出発
- 9:45～9:50 益城町役場（役場職員と合流・先導）
- 10:05～10:25 益城町上陳堂園（木山断層） 【現地説明：益城町役場】
- 10:35～10:55 木山神社（木山神社鳥居倒壊現場） 【現地説明：益城町役場】
- 11:00～11:20 益城町役場旧議会棟（建物被災現場） 【現地説明：益城町役場】
- 12:10～12:50 昼食（熊本市：桜の馬場城彩苑）
- 12:50～13:20 熊本城被害状況調査 【現地説明：熊本市役所】
- 14:50～15:30 熊本フェリーにて島原外港へ
- 15:50～16:10 土石流被災家屋保存公園（道の駅 みずなし本陣）
- 16:40～17:10 雲仙地獄散策
- 17:15 雲仙市（泊：新雲仙東洋館）

●11月29日（水）

- 8:45 ホテル出発
- 9:25～9:50 大野木場砂防みらい館・旧大野木場小学校被災校舎
- 10:00～11:00 雲仙岳災害記念館
- 11:50～12:15 雲仙多良シーライン休憩所（潮留堤視察）
【現地説明：諫早ゆうゆうランド干拓の里】
- 12:45～13:20 昼食（諫早ゆうゆうランド干拓の里 はとむぎ館）
- 13:20～13:50 諫早ゆうゆうランド干拓の里 干拓資料館視察
【現地説明：諫早ゆうゆうランド干拓の里】
- 14:20～14:50 中央干拓地視察（前面堤防中央部公園）
【現地説明：諫早ゆうゆうランド干拓の里】
- 15:35 頃 諫早駅（希望者下車）
（諫早駅（JR 特急カモメ 32 号）16:12 発→博多駅 17:53 着→博多駅（新幹線のぞみ 60 号）18:10 発→新大阪駅 20:38 着）
- 16:30 頃 長崎空港着、解散
（SKY448 便：17:20 発→18:25 神戸空港着）
（ANA786 便：17:30 発→18:35 大阪空港着）
（JAL2378 便：19:20 発→20:35 大阪空港着）

8. 宿泊ホテル

(11/27 (月)) 阿蘇の司ビラパークホテル&スパリゾート

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川 1230

TEL : 0967-34-0811

(11/28 (火)) 新雲仙東洋館

〒854-0698 長崎県雲仙市小浜町雲仙 128

TEL : 0957-73-3243

9. 企画・運営

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR) 事務局

〒531-0074 大阪市北区本庄東 2-3-20 (株)ニュージェック気付

事務局長 吉田

(TEL : 吉田) 06-6374-4420 (不通の場合は、06-6374-4814 (高木))

(FAX) 06-6374-5108

E-mail : cdr@newjec.co.jp

<http://www.e-tsunami.com/>

10. 調査行程表

【11月27日（月）①】



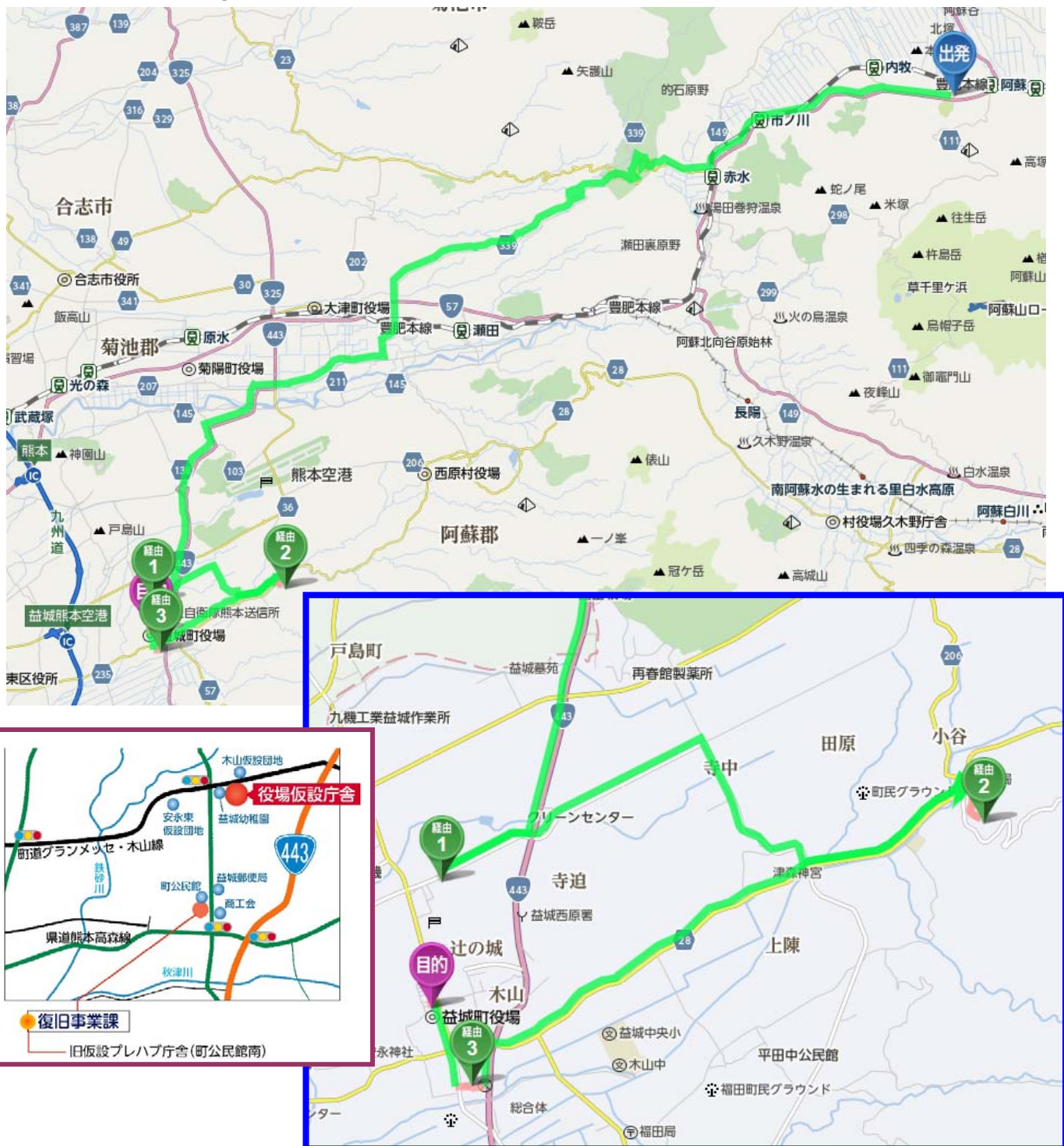
- | | |
|-------------|---|
| 11:25 | 《出発》熊本空港集合
（飛行機：ANA523 便：大阪空港 9:20 発→熊本空港 10:30 着）
（飛行機：JAL2385 便：大阪空港 9:50 発→熊本空港 11:00 着）
（新幹線：新大阪駅（さくら 543 号）6:50 発→熊本駅 10:09 着→熊本駅前（空港リムジンバス）10:20 発→熊本空港 11:19 着） |
| 11:25～12:35 | 移動 |
| 11:35～12:15 | 昼食（益城町：菅乃屋西原店） |
| 12:15～13:00 | 移動 |
| 13:00～13:05 | 《経路 2》南阿蘇村役場（役場職員と合流・先導） |
| 13:05～13:20 | 移動 |
| 13:20～13:45 | 《経路 3》（南阿蘇村）高野台（京都大火山研究所付近住宅地土砂災害現場）
【現地説明：南阿蘇村役場】 |
| 13:45～13:55 | 移動 |
| 13:55～14:20 | 《経路 4》（南阿蘇村）阿蘇大橋斜面崩落現場
【現地説明：南阿蘇村役場】 |
| 14:20～14:30 | 移動 |
| 14:30～15:20 | 《目的》（南阿蘇村）東海大学阿蘇キャンパス被災現場
【現地説明：東海大学阿蘇キャンパス】 |

【11月27日（月）②】



15:20～16:20	移動
16:20～16:50	《経路 1》(阿蘇市) 阿蘇神社倒壊現場
16:50～17:10	移動
17:10	《目的》阿蘇市 (泊：阿蘇の司ビラパークホテル&スパリゾート)

【11月28日（火）①】

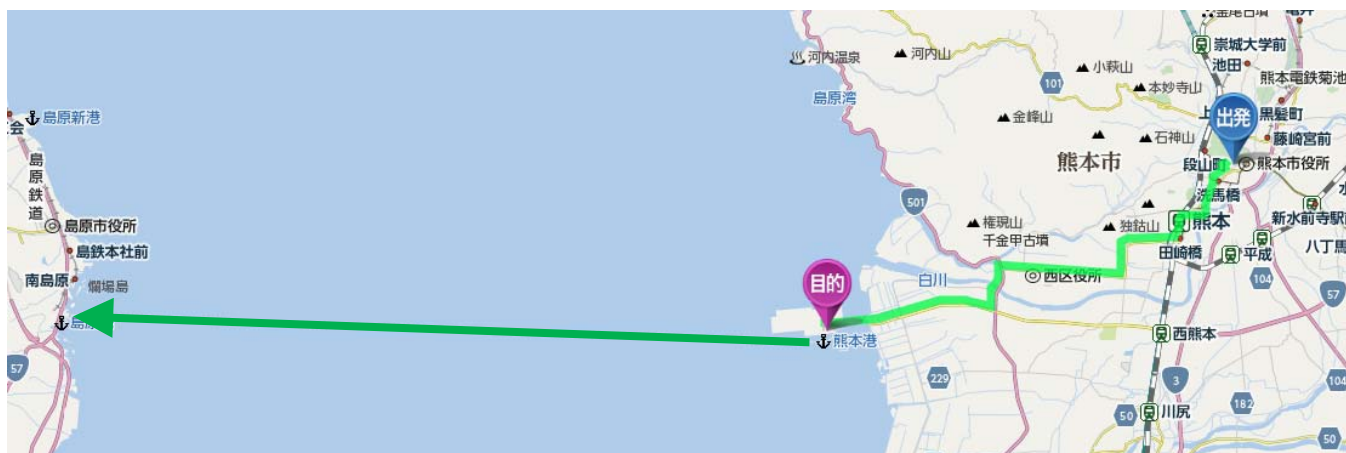


- 8:30 《出発》ホテル出発
- 8:30～9:45 移動
- 9:45～9:50 《経由 1》益城町役場（仮設庁舎）（役場職員と合流・先導）
- 9:50～10:05 移動
- 10:05～10:25 《経由 2》益城町上陳堂園（木山断層）【現地説明：益城町役場】
- 10:25～10:35 移動
- 10:35～10:55 《経由 3》木山神社（木山神社鳥居倒壊現場）【現地説明：益城町役場】
- 10:55～11:00 移動
- 11:00～11:20 《目的》益城町役場旧議会棟（建物被災現場）【現地説明：益城町役場】

【11月28日（火）②】



- 11:20～12:10 《出発》移動
- 12:10～12:50 《経由 1》昼食（桜の馬場城彩苑）
- 12:50～13:20 《目的》熊本城被害状況調査【現地説明：熊本市役所】



- 13:20～14:00 《出発》移動
- 14:50～15:30 《目的→》熊本フェリーにて島原外港へ

【11月28日（火）③】



- 15:40～15:50 《出発》島原外港から移動
- 15:50～16:10 《経路1》土石流被災家屋保存公園（道の駅 みずなし本陣）
- 16:10～16:40 移動
- 16:40～17:10 《経路2》雲仙地獄散策（日没状況によって中止）
- 17:10～17:15 移動
- 17:15 《目的》雲仙市
（泊：新雲仙東洋館）



【11月29日（水）①】



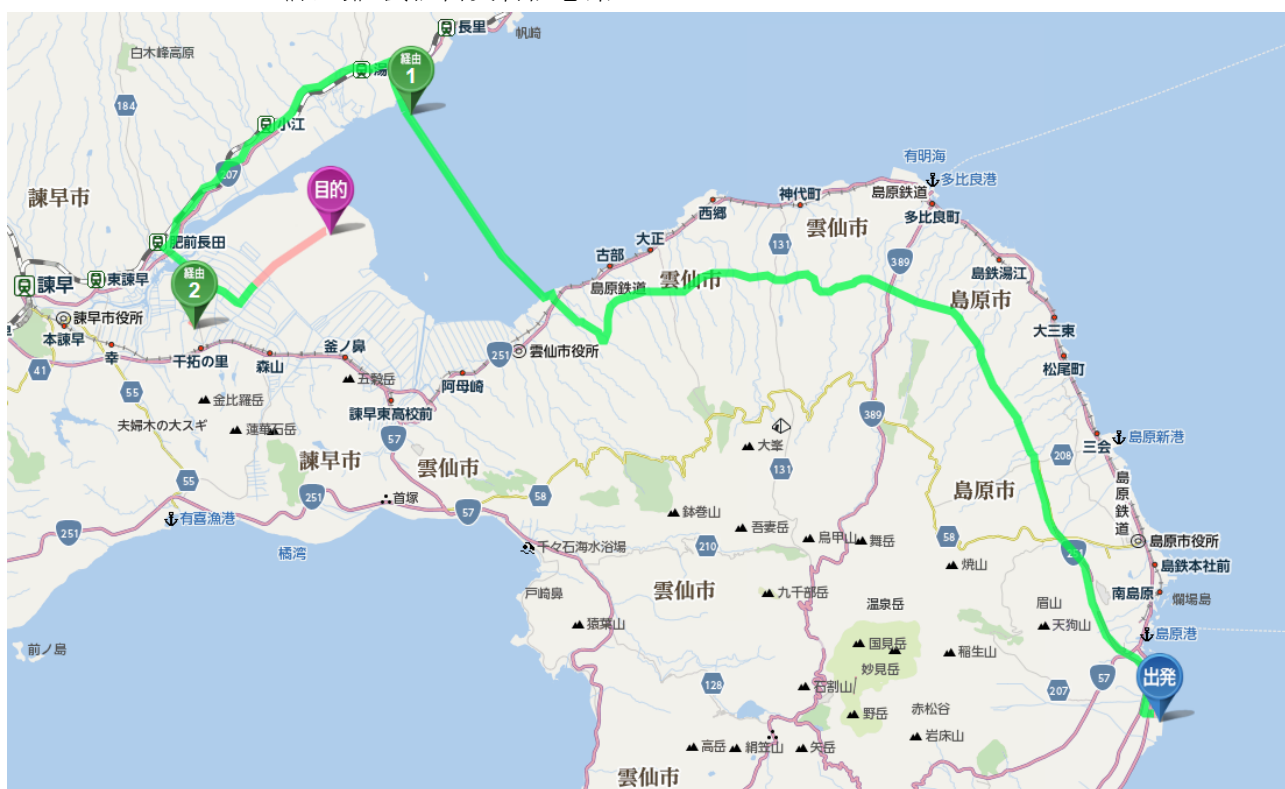
8:45 《出発》ホテル出発

8:45～9:25 移動

9:25～9:50 《経由 1》大野木場砂防みらい館・旧大野木場小学校被災校舎

9:50～10:00 移動

10:00～11:00 《目的》雲仙岳災害記念館



11:00～11:50 《出発》移動

11:50～12:15 《経由 1》雲仙多良シーライン休憩所（潮留堤視察）

【現地説明：諫早ゆうゆうランド干拓の里】

12:15～12:45 移動

12:45～13:20 《経由 2》昼食（諫早ゆうゆうランド干拓の里）

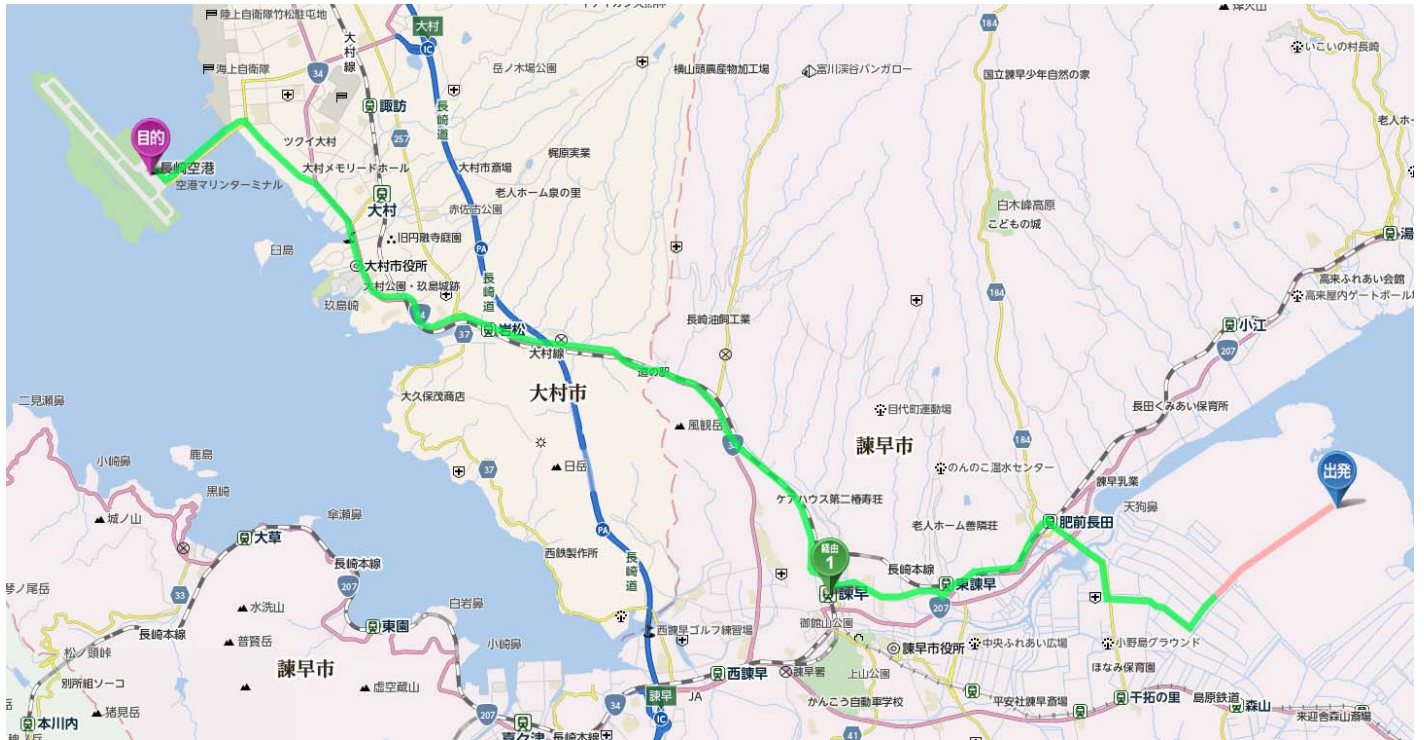
13:20～13:50 《経由 2》諫早ゆうゆうランド干拓の里 干拓資料館視察

【現地説明：諫早ゆうゆうランド干拓の里】

13:50～14:20 移動

14:20～14:50 《目的》中央干拓地視察 【現地説明：諫早ゆうゆうランド干拓の里】

【11月29日（水）②】



- 14:50～15:35 《出発》移動
- 15:35～15:40 諫早駅（希望者下車）
 （諫早駅（JR 特急カモメ 32 号）16:12 発→博多駅 17:53 着→博多駅（新幹線
 のぞみ 60 号）18:10 発→新大阪駅 20:38 着）
- 15:40～16:30 移動
- 16:30 《目的》長崎空港着 解散
 （SKY448 便：17:20 発→18:25 神戸空港着）
 （ANA786 便：17:30 発→18:35 大阪空港着）
 （JAL2378 便：19:20 発→20:35 大阪空港着）